

平成29年度向の岡工業高等学校校定時制不祥事ゼロプログラム実施状況

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	公務員としての自覚を高め、法令遵守意識の向上に努める。	啓発・点検資料等を活用するなどして、服務や不祥事防止の内容について周知・徹底を図るとともに、公務外非行防止に向けた啓発活動を行った。
わいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ・セクハラ・パワハラ行為のない職場環境作りを推進する。	啓発・点検資料等を活用するなどして、職務上や教育上・能力上などの優越的な権力を用いて職員が行動・発言しないよう啓発した。また、携帯電話・電子メールの適切な使用について、職員及び生徒に周知・徹底した。
体罰、不適切な指導の防止	職員間の連携を密にしつつ指導体制を整え、体罰と不適切指導を防止する。	啓発・点検資料等を活用するなどして、カウンセリングマインドに基づいた指導を心がけ、生徒職員間の信頼関係の確立に努めた。また、人権の配慮に関する研修を実施するとともに、生徒への指導は複数で行った。さらに、携帯電話・電子メールの適切な使用について、職員及び生徒に周知・徹底した。
成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	通知表・調査書及び成績処理に関する点検体制を徹底し、事故のないようにする。	啓発・点検資料等を活用するなどして、職員の意識向上を図った。また、マニュアル遵守を徹底し、特に、点検時には入力とは別の職員が複数でチェックするよう徹底した。
会計事務等の適正執行（備品の現物照合）	会計事務における適正な執行と処理を行い、備品の点検を徹底し事故発生を防ぐ。	啓発・点検資料等を活用するなどして、職員の意識向上を図った。また、私費の会計処理について研修会を実施し、公費の会計処理に準じて行うよう再度周知した。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報の適切な取り扱いと情報の漏洩防止を徹底する。	啓発・点検資料等を活用するなどして、職員の意識向上を図った。特に、成績処理、調査書作成及び奨学金等の業務における個人情報の管理を徹底した。また、共有フォルダー、シュレッダー及びUSB等の適切な使用を徹底した。さらに、携帯電話・電子メールの適切な使用について、職員及び生徒に周知・徹底した。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故及び飲酒運転を絶対起こさないよう注意を喚起する。	啓発・点検資料等を活用するなどして、職員の意識向上を図り、事故発生時の報告・対応等を確認するとともに、飲酒することが予定されている場合は、車を運転して勤務地や最寄り駅まで行かないことを周知・徹底した。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	規則に沿った執行体制を築き、責任体制の確立を図る。 成績関係書類及び調査書発行等の作成・点検体制を確立する。	啓発・点検資料等を活用するなどして、職員の意識向上を図った。また、マニュアルの理解徹底に努め、職員間の情報の共有化を図るとともに、業務執行時には起案を徹底し、相互の点検体制を確立した。

入学者選抜に係る事故防止	選抜方法の理解徹底に努め、入学者選抜業務における事故防止に努める。	啓発・点検資料等を活用するなどして、職員の意識向上を図るとともに、入選マニュアルの理解徹底に努め、業務手順やチェック体制を再確認するなど、余裕をもって、計画的に業務を遂行した。
保護者との情報交換の徹底	保護者との連絡を密にとり、生徒への時宜を得た適切な指導を実現する。	生徒情報交換会及びケース会議等を開催、情報の共有を密に行うなど、学校と家庭の円滑な連携を実現するために職員間の情報交換の密度と頻度を高めた。
公務員倫理意識の徹底	公私問わず公務員として、高い倫理意識の徹底について注意を喚起する。	不祥事防止研修会の実施や、打合せでの不祥事に関する新聞記事の提示などにより意識啓発を行った。
若手教員の育成	若手教員の育成を推進する。	若手教員の学校現場における問題解決に向けた研修及びOJTによる人材育成等を行い、それぞれの場面における対処法を確認するとともに、事故防止に努めた。

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

不祥事防止については、年間を通じて、県教委発出の啓発・点検資料、通知及び新聞記事等を活用しながら職員の注意喚起に努めるとともに、研修会等の実施による意識向上などにより、平成29年度不祥事ゼロプログラムは目標を達成することができたと考える。次年度についても、引き続き、不祥事防止に向けて、ゼロプログラムの行動計画の確実な実施及び目標の達成に努めていく。